

# 胸腺腫・胸腺がんの病理と治療

～ 希少がんの現状と課題について考える ～

**会場** 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター  
築地キャンパス新研究棟  
セミナールーム

**日時**

2019年 **5月19日** (日)

**開場** 10:30 **開会** 11:00 (閉会 16:30 予定)

「胸腺がんです」「胸腺腫でしょう」－医師から告げられ、その上「稀ながんです」と言われたら…。本セミナーでは、患者自身の体験発表と専門医のお話から胸腺腫瘍の特徴と治療法を学び、患者の声から現状を知り、問題を議論し、国の理解も求めていきます。

定員：200名 (要・申込み \*裏面をご覧ください) 参加費：無料

時間は予定

## 第1部 患者体験発表

(11:10～12:00)

(1) 「胸腺腫と合併症の6年間」 鈴木裕子 (神奈川)

(2) 「胸腺腫と生きて11年」 近藤セツ子 (秋田)

(発表者への質問をお受けいたします)

## 第2部 講演&質問

(13:00～15:00)



(1) 「胸腺腫・胸腺がんの病理」

比島恒和 医師  
がん・感染症センター都立駒込病院  
病理科部長

(2) 「胸腺腫瘍に対する放射線治療」

中山優子 医師  
国立がん研究センター中央病院  
放射線治療科医長



(3) 質問タイム

回答者：後藤 悌 (やすし) 医師  
国立がん研究センター中央病院呼吸器内科 /  
希少がんセンターがんゲノム情報管理センター  
情報統合室併任

(4) 「がん対策基本法制定から現在まで、  
そして希少がん対策今後の展望」

佐々木昌弘 課長  
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課長



## 第3部 発表&シンポジウム

(15:15～16:30)

【発表】

(1) 「希少がんホットラインから見える  
胸腺腫・胸腺がん患者さんの現状と課題」  
加藤陽子 看護師 (国立がん研究センター-希少がんセンター)

(2) 「81症例から見てきたことは」～症例集第2集の編集を終えて～  
松本千穂 (ふたつば関東支部長)

【シンポジウム】

「胸腺腫・胸腺がんの現状と課題について考える」  
比島恒和 医師 / 中山優子 医師  
後藤 悌 医師 / 佐々木昌弘 課長  
加藤陽子 看護師 / 近藤セツ子  
(ふたつば代表)

